

科目名	家族看護論 (Family Nursing)			科目コード	233
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	看①②
担当教員	奥田 美恵、越智 百枝				
授業概要	以下の項目について教授する。 (オムニバス方式) (奥田講師) 10時間、看護における家族の概念、家族を理解する諸理論、家族アセスメントの視点、援助関係の形成、家族へのケア技術について教授する。 (越智教授) 6時間、家族の病気体験の理解、家族員に精神障がい者を持つことによる家族への影響と陥りやすい状況、家族援助の考え方を教授する。				
授業目標	1 家族を単位として援助することの意義を理解し、自分の言葉で説明できる。 2 理論を活用して対象家族を理解し、少ない情報で家族像を捉えることができる。 3 家族との援助関係の形成や働きかけ方・ケア技術について理解できる。 4 家族員に精神障がい者を持つ家族の理解と援助の考え方を理解できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	家族看護の対象	家族の定義	奥田美恵
2	家族看護に活用できる理論	家族理解に役立つ理論 家族発達理論 家族システム理論 家族ストレス対処理論	
3	家族のアセスメント	家族アセスメントの視点 家族の構造機能 (ジェノグラム・エコマップ) 家族アセスメント項目	
4	家族看護方法	家族に提供するケア技術	
5	家族との援助関係の形成	援助関係 (パートナーシップ) の形成	
6	精神障がい者と家族 (1)	病気と家族理解のための理論: 家族病因モデル、家族負担モデル、家族サポートモデル、家族成長モデル	越智百枝
7	精神障がい者と家族 (2)	家族員に精神障がい者を持つことによる家族への影響や陥りやすい状況と家族への援助の考え方 【統合失調症】	
8	精神障がい者と家族 (3)	家族員に精神障がい者を持つことによる家族への影響や陥りやすい状況と家族への援助の考え方 【うつ病】	
成績評価方法		筆記試験 60% (第1～5回: 奥田)、 筆記試験 40% (第6～8回: 越智)	
教科書		鈴木和子・渡辺裕子「家族看護学—理論と実践 第4版」(日本看護協会出版会)	
参考図書等		荒賀直子・後閑容子「公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版」(インターメディカル) 小林奈美「グループワークで学ぶ家族看護論第2版—カルガリー式家族看護モデル実践へのファーストステップ」(医薬業出版) 法橋尚宏「新しい家族看護学 理論・実践・研究」(メヂカルフレンド社) 野嶋佐由美監修「家族エンパワメントをもたらす看護実践」(へるす出版)	
授業時間外の学習について			
関連科目		各看護学領域対象論・方法論・実習	
備考			